



共創

学校長 西尾 武泰

桜の葉も緑に色づき、木々の新緑の美しさに季節の移り変わりを感じるころとなりました。

例年ですと、この時期には子どもたちは新しい学級にも慣れ、ゴールデンウィーク明けから始まる運動会の練習に向けて、期待も高まっているところです。しかし、昨年度末から続いている新型コロナウイルス感染拡大防止のための休校措置により、4月に入ってもしっかりと学級開きもできていない状況ですし、新しい学年になったことで、担任も変わり友達も変わり、新学年の学習も始まるというこのような中で、不安を抱える子どもたちもきっと多いと思います。そのような子どもたちに対して公教育の場である学校が、どのようにして子どもたちとかわかり、学習保障やメンタルヘルスの役割を果たしていくべきなのかがほとんどの学校での課題となっています。

今年度から本格的に始まる新しい学習指導要領実施に向けて、本校でも「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業」を行うための準備を行ってきました。このような状況の中で「主体的」そして「対話的」な学びを実践していくには、やはり、子どもたちが登校してきて授業を行うことで成り立つことでもありますので、今はその難しさを感じているところです。ご存じの通り、子どもたちの学習保障をするために、様々なところで、テレビやパソコンを使って動画配信をしたり、課題のプリントがダウンロードできるようになっていたりしています。ただ、ネット環境やパソコンを使うときのルールも各家庭によって違いはあるので、本校の子どもたちにとって、今必要なことは何かを見極めながら、他校の取り組みの良いところを参考にしたり、保護者の方々からのご意見をいただいたりして、共に創り上げる「共創」をしながら、教職員全員で一丸となってこれからも取り組んでいきたいと思います。今月も保護者の皆様をはじめ、地域の皆様の温かい励ましとご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学校の予定が急に変更になるときには、メール配信やホームページでお伝えしますので、ご承知おきください。